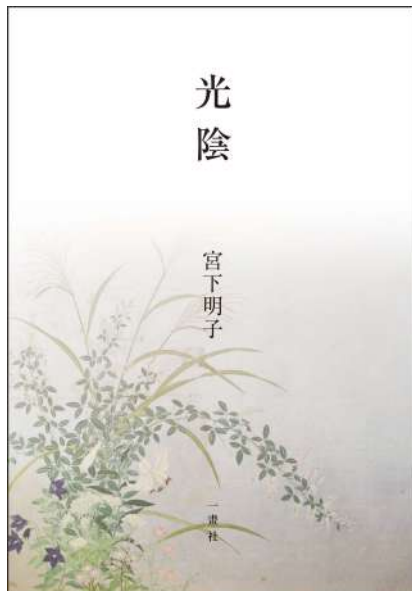


2025年12月上旬配本予定

光 陰

宮下明子 著



季節に四季があるように、
人とのかわりも春夏秋冬とうつりゆき、
過ぎてみればどんな景色も無駄ごとではなく、
彩りはいろいろであって、光も陰も美しいのだと
私は思っていました。（「光陰」より）

朝日が輝いている。空気は引き締まっている。
見慣れて懐かしい八ヶ岳の峯々が、凜として長い裾野を
引き雪を頂いている。胸が熱くなって目が霞んだ。
私は、山々に囲まれた深々としたこの信州に
育てられたのだった。（「赤いセーター」より）

諏訪大社秋宮の下で、菓子製造販売業「不二屋」
を営む父……（「父のおくりもの」より）

※不二屋の屋号は、中村不折の書。包装紙を描いたのは、棟方志功。
※中村汀女は、不二屋のために「朝時雨初霜遠くしのぶのみ」と詠んだ。

さまざまな人との出会い、
忘れがたい思い出——。

美の高みにあるものにあこがれて、
人生の光と陰を生きてきた書家の、
小説集・随筆集。

目次

Ⅰ 小説集 光陰

白椿／光陰／不昧の手紙／短夜／声／ひぐらし

Ⅱ 随筆集 円居

円居／朝あけ／紅白芙蓉図／知足／祖母の手織布／
兄の思い出／父のおくりもの／父の思い出／
「中村屋」のこと／幸福／濱さん／罌粟／
私の二十歳／遅い目覚め／閑日／吉岡幸雄先生の思い出

Ⅲ 随筆集 蓼科

蓼科の立春／蓼科の初夏／八月の蓼科／辻さん／
蓼科の樹／茸狩り／蓼科の冬／神仙／赤いセーター

Ⅳ サロン作楽 桜・菊・茶

桜と日本人／菊と日本人／岡倉天心『茶の本』に学ぶ

作品選

あとがき

宮下明子（みやした あきこ）

1942年、長野県生まれ。書家。号は明珠。

明珠会主宰。サロン作楽主宰。

日本の書展フランス展（リヨン展・パリ展）出品。

日本の女流展（香港展・東京展）出品。

日経アートギャラリー、銀座 鳩居堂にて個展を開催。

四六判・上製／224頁／定価＝本体2300円＋税

ISBN978-4-911281-02-4 C0095

いっかくしゃ
＊書籍内容についての問い合わせは、一畫社（担当：石山 uteditoriale@gmail.com）まで。

▶ご注文はツバメ出版流通まで

fax 03-3721-1922

tel 03-6715-6121
info@tsubamebook.com
<http://tsubamebook.com/>

貴店名（番線印）	一畫社 uteditoriale@gmail.com		返品条件付注文扱い 返品了解：ツバメ出版流通 川人
	注文数	光 陰 宮下明子 著	
ご担当：	様	冊	四六判・上製／224頁／定価＝本体2300円＋税 ISBN978-4-911281-02-4 C0195